

岡山県医療審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和7年3月17日（月） 14時00分～15時00分
- 2 開催場所 岡山県医師会館 401会議室
- 3 出席委員 松山正春、重井文博、武田俊彦、出石啓治、池宗敏文、高田清彦、
國定 剛、岡崎文代、原 智紀、江本公一、二宮一枝、坂本八千代
(15名中12名)

4 審議経過

(1) 開 会

14時00分開会。
半数以上の出席により会議の成立を宣言。

(2) あいさつ

保健医療部長 あいさつ

(3) 審議概要

【会長等の選出・議事録署名人の指名について】

- ・互選で選出することとされているが、委員からの意見がないため、事務局から会長に松山委員、副会長に重井委員を推薦し、賛成多数により松山委員を会長、重井委員を副会長に選出。
- ・松山会長が議長となり、議事録署名人として、重井委員と岡崎委員を指名。

【協議 岡山県病床機能再編支援事業に係る再編計画について】

- ・事務局から資料により説明。
(質疑なし)
- ・適当と認めるとして答申をすることとなった。

【報告① 第9次岡山県保健医療計画の進捗状況等について】

- ・事務局から資料により説明。

【委員】

保健医療計画の進捗状況について、P D C Aを取り入れながら進行管理を行うということだが、P D C Aのうち、C h e c kとA c t i o nがあまりできていないのではないかと感じている。目標を達成しているところは、引き続き、取り組めば良いと思う。

我々民間でも40年や50年前から、計画を立ててP D C Aを実行している

が、C h e c kする中で何か不足があった場合は、アクションし、ブラッシュアップしていくことがP D C Aであると思っており、この資料を見ると、達成していなくても、引き続き、取り組んでいくというような内容であることが多いので、何が原因で目標を達成できなかったかなどを、この達成状況のところに加えて整理し、それを基に今後の展開を考えていかないといけない。

今回は、何がどういう原因で目標まで達成できなかったか、今後は、達成するために、何に力を入れるかというところを整理する必要がある。この評価のままだと、色々なことが達成できないままになるのではないかと懸念しているので、是非、こういうところも含めて、今回はまとめていただきたいと思う。

【医療推進課長】

達成度については、今年度から始めた事業の結果に伴うものになっている。今回の中で達成度が1となっているものが49ページにある妊娠中の母の喫煙率や妊娠中の母の飲酒率である。最終的に0%を目指す目標になっているが、現状では、喫煙率が2.2%、飲酒率が0.7%となっている。

こういったものについては、どうしても止められない人がおり、中々、難しいところがあるため、小学生から高校生の若年層にアプローチしている。その他、妊婦へ母子手帳を交付する際に、喫煙や飲酒の弊害というものを含めた保健指導を行うことなどを考えている。委員のお話のとおり、来年度からは、当然、何が足りなかったのかということを考えながら、取組状況の記載内容も検討してまいりたい。

【委員】

日頃からそういうことを考えておけば、次の第10次保健医療計画策定の際に、非常に役に立つのではないかと思う。

【委員】

保健医療計画は、令和11年度末時点为目标としており、まだ1年目であるため、ある意味、達成できていないのは、当然なのかも知れないが、年度ごとの目標はないのか。令和11年度末まで、あと5年あるため、現時点での達成具合といっても、中々、分かりづらい。通常、企業であれば、年度ごとにその目標がどこまで達成できて、次はどのように取り組んでいくかを考える。そうすれば、1年間でできなかったこと、うまくいったことなどの反省が非常にやりやすい。

また、逆に、1年目で既に目標を達成しているものもある。もう上は目指さないで良いのかということもある。難しいとは思いますが、やはり目標を掲げた以上、それに向けて、どういうふうに取り組んでいくのかを、もう少し検討した方が良いと思う。

【委員】

そのとおりだと思う。目標の達成状況については、達成してもまた下がることがある。各年度で、上がったたり下がったりすることもあり、中々、難しいところがあると思う。こうした点についても検討しながら、次に進めるということが必要ではないかと思う。

【医療推進課長】

今回の達成度では、新興感染症発生・まん延時における医療が、ものすごく良かった。令和11年度末までにやっておかなければならない目標に対して、いつ感染症が発生するか分からないということで、前倒しで取り組んだ結果として、達成度が4や5となっている。今後、これを維持していけるように取り組んでいくことが重要だと思っている。

この中には、年度ごとの数値目標は明示していないが、各担当課においては、ある程度の年度ごとの目標を定め、事業を遂行しているものもある。

我々としては、最終的な目標に対して、進捗がどの程度かということ判断した上で、お示ししているものである。各担当課としては、達成度が2であるけれども、今年度において、やるべきことをやったというふうに判断しているものもある。いずれにしても、年度計画を立てて、物事を進めていくことは、大切なご指摘と思うので、再度、関係各課にしっかりと周知をしていきたいと思っている。

【委員】

あくまで自己評価であるため、第三者が評価すればどうなるかということであるが、第三者が評価に関与するとすると、時間的にも余裕がないのではないかと思う。

【報告② 医療法人部会及び救急医療対策部会の審議状況について】

・事務局から資料により説明。

【委員】

医療法人の設立や解散についての説明等があったが、解散が非常に多くて、医師会の会員が段々減っている。この人たちを辞めさせない方法を考えれば、医師の偏在対策に寄与できるのではないかと思う。毎年、15件程度、閉院や亡くなったことにより、解散している。

以上ですべての審議を終了し、議長が閉会を宣言した。